

## 第3学年 道徳学習指導案

指導者

1. 主題名 目標に向かって努力する 内容項目1－(2)強い意志

2. 資料名 「生涯 志を貫いた真のリーダー 杉田 秀夫」(出典「志をはぐくむ」坂出市教育委員会)

3. 主題設定の理由

(1) 人間としてよりよく生きるためには、目標や希望をもつことが大切である。ほんの小さな目標であっても、それが達成されたときには満足感を覚え、自信と勇気が起こるものである。このような達成感は、自己の可能性を伸ばし、人生を切り拓いていく原動力となり、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすことにもなる。このことを積み重ねる中で、人生の理想や目標を達成しようとする強い意志が養われ、生きることへの希望もはぐくまれてくる。中学生の時期は、自分の好むことや価値を認めたものに対しては意欲的に取り組むが、困難に直面すると簡単に挫折し物事をあきらめてしまうこともある。自己の進路選択を行う第3学年で、未来に夢や希望をもち、粘り強く着実にやりぬく姿勢について考えさせたい。

(2) 本学級の生徒は、道徳の授業において、進んで自分の考えを発表する生徒も多く、意欲的に取り組んでいる。話し合い活動にも積極的に参加し、お互いの意見を聞き合う。運動会などの学校行事では、自主的に取り組み、教師の指示に素直に従い、まじめに練習に励んだ。「郷土に関する事前アンケート」では、9割の生徒が「坂出が好き。」と答えており、その理由として、自然が豊かであることや、平和で静かであることを挙げている。しかし、小学生の時に瀬戸大橋ができたその背景や、完成までの過程について学習したことを記憶している生徒はほとんどいない。「志に関する事前アンケート」では「自分には夢がある。」「将来の具体的な目標がある。」「目標とする人の生き方がある。」と答えた生徒はいずれも5割程度であった。

(3) 本資料は、一つの目標に向かって、ひたすら努力し続ける杉田秀夫氏が、高い志と熱い思いで、瀬戸大橋建設をやり遂げる話である。杉田秀夫氏という人物を通して、自らも夢をもち、強い意志で目標を達成しようとする心情を養いたい。また、「志に関する事前アンケート」の結果を紹介し、自分の将来の夢について考えさせることで、資料を通して、自分もよりよく生きようとする態度を育てたい。そして、架橋のあゆみと、杉田さんの行動、その時の気持ちを考えさせることで、杉田さんの強い意志に気づくとともに、また、ペア活動を行うことで、自分の考えを発表できる機会を作り、友だちの意見を聞くことで考えを深めさせたい。鉛筆対談では、杉田さんの立場になってセリフを考えることで、自分の仕事に向けてひたすら突き進んだ杉田さんの思いを考えさせたい。

4. 指導計画

(1) DVD 視聴 (NHK「プロジェクト X 男たちの不屈のドラマ瀬戸大橋」)・・・(学級活動) 1時間

(2) 「生涯志を貫いた真のリーダー 杉田 秀夫」・・・・・・・・・・・・・・・・(道徳) 1時間 (本時)

5. 本時の学習指導

(1) ねらい

杉田さんの行動には、高い志があったことを理解し、自分も夢をもち、強い意志をもって生きようとする心情を養う。

(2) 準備物

- ・プレゼン（瀬戸大橋写真・事前アンケート・架橋のあゆみ）・ワークシート
- ・班発表用ホワイトボード

(3) 学習指導過程

(.....: 学び合いの場面とその支援)

	学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
導入 (5分)	1. 将来の夢や目標について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した職について幸せに暮らしたい。</li> <li>・年収が多い仕事に就きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「志に関するアンケート」の結果を紹介する。</li> </ul>
展開 (40分)	2. 資料（前半）を読み、杉田さんの行動や気持ちを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸大橋が完成するまでに、ずいぶん長い年月がかかっている。</li> <li>・瀬戸大橋が完成する前に、東京に転勤した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを視聴した時のことを思い出させ、当時の人々の架橋への願いを確認する。</li> <li>・杉田さんの生涯と、架橋のあゆみの年表を提示し、出来事を確認する。</li> <li>・杉田さんに、強い決意があったことに気づかせる。</li> <li>・辞めた後のことを意識させることで、自分で逃げ道をなく覚悟の重さに気付かせる。</li> <li>・杉田さんの当時の置かれている状況を具体的に想像させることで、続けるかどうかを両方の立場で考えさせる。</li> </ul>
	(1)国鉄を辞めたときの杉田さんの気持ちを考える。  (2)工事の着工が延期になったときの杉田さん気持ちを考える。  3. 資料（後半）を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の職員に悪い。</li> <li>・新しい仕事に専念したい。</li> <li>・自分の決意をより強くするため。</li> <li>・できることをしておけば早く橋を完成させることができる。</li> <li>・橋の建設を必ずやり遂げたい。</li> <li>・もう止めて、違う仕事に就こう。</li> <li>・家族の生活もかかっているのでそちらを優先しよう。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             なぜ杉田さんは併合式に参加しなかったのだろう。           </div>		
	(1) <u>東京の事務所で仕事をしていたときの杉田さんのセリフを鉛筆対談する。</u> （鉛筆対談のルールを確認する） (2)全体で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋の一番重要な所に関われたことが満足だ。</li> <li>・強い思いで取り組んで良かった。</li> <li>・瀬戸大橋が無事完成して満足だ。</li> <li>・次の仕事にも熱意を持ってがんばろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで、部下と杉田さんの立場になり鉛筆対談をさせることで杉田さんの思いを想像させ、考えを深めさせる。</li> <li>・「閉合式」に参加しなかった理由を考えさせ、杉田さんの橋建設にかける熱い思いに気づかせる。</li> </ul>
終末 (5分)	4. 授業の感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸大橋を利用できることに感謝したい。</li> <li>・信念を貫いてよかった。</li> <li>・杉田さんの生き方はすごい。</li> <li>・自分もこのように打ち込める仕事がしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸大橋のおかげで、今の安全で便利な生活があることに、感謝の気持ちをもたせる。</li> <li>・夢や志をもって生きることのすばらしさを感じさせる。</li> </ul>

(4) 評価

- ・杉田さんの生き方を通して、自分の目標に向かって、努力し続ける心情が身に付いたか。